

1. おもな活動概要と成果

戦争遺跡や様々な歴史文化遺産、豊かな自然環境などを「館山まるごと博物館」と位置づけ、調査・保全・活用を通じて「平和の文化」を学び、育む教育支援やエコミュージアムまちづくりを推進した。

新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、ガイド事業においては平和学習などのスタディツアーが復活しつつあり、2019年の台風被災以前の実績に近く回復してきた。ガイド人材養成講座をはじめ、会員が持ち回りで講師となる「知恵袋講座」などを開催し、学習と会員の親睦交流を図った。

書籍事業は、地域を紹介するガイドブックやパンフレット、各種調査報告書等を編集・発行し、市内の書店やオンラインショップを通じて広く頒布した。テキスト「館山まるごと博物館」はスタディツアーガイドの座学用教材として使用している。

旧安房南高校木造校舎（県指定文化財）の一般公開及び通年の巡視等の事業委託を千葉県・安房高校より受け、「安房高等女学校木造校舎を愛する会（当 NPO が事務局を付託）」の協力を得て、草刈り・掃除等の環境保全を実施した。見学会は事前申込制の条件付きで4年ぶりに開催した。

日本とイタリアの文化交流に尽力した画家・寺崎武男の生誕140年を迎えるにあたり、遺族から寄贈を受けていた作品の紹介、書簡や手帳・スケッチ帳等の解説・分析調査を進めた。今まで知られていなかった館山ゆかりの“幻の画家、に光をあて、国際的に活躍したファミリーヒストリーや著名な友人らとの交流、美術研究者としての功績など、様々なことが明らかになった。シンポジウム・作品資料展を開催するとともに、調査報告書を発行し、日伊文化交流史に一石を投じた。

渡米アワビ漁師移民に関する調査研究および日米情報交換は引き続きおこなった。

国際協力においては、ウガンダ意識向上協会（CUFI）をカウンターパートとし、高校生や多様な市民団体と連携を図りながら、ウガンダ支援交流28年目を迎えた。フェアトレードの自然栽培ウガンダコーヒーの流通（協賛27店舗）、チャリティの安房・平和のための美術展、アフリカ布製品の販売等を展開した。さらに、少女の「生理の貧困」に伴う課題解決のために、NPO法人Global Bridge Network（GBN）が現地ウガンダで推進する「布ナプキン制作指導プロジェクト」に参画をはじめた。

安房地域母親大会の主催構成団体として、元文部政務次官の前川喜平氏と千葉大学教育学部附属小学校の中谷佳子教諭を迎え、コロナ禍における「教育の今」をテーマに講演・討論をおこなった。

会員向け会報の発行とともに、公式サイトやYouTube・各種SNS等を通じて広く情報発信した。歴史教育者協議会、戦争遺跡保存ネットワークなど多岐にわたる連携を図った。「館山まるごと博物館」のエコミュージアム活動は高く評価され、千葉県コラボ講座の優秀事例として発表の機会を得た。

2. 事業の実施について

(1) 文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業

実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	122	266	271	81	56	98	576	226	89	101	99	119	2104
団体	0	6	3	4	9	4	4	10	4	5	4	6	59

① スタディツアーガイド 10名以上を対象に、座学・テキスト付（有償・要予約）

② 赤山地下壕ガイドサービス 小グループ対象（無償・第一日曜）

③ ガイド人材養成講座 講師：愛沢伸雄 1/8 = 33名

赤山地下壕跡の再考（掘削時期）、山本五十六の真珠湾構想と館山湾、米占領軍の直接軍政

④ 知恵袋講座

<68> 6/21 活動報告交流会 31名+オンライン参加5名

<69> 7/19 上田敦子「紛争が起きて戦争にしない～AALA活動とASEANツアーから学ぶ」23名

<70> 9/20 粕谷智美「コロナ禍のウガンダ現状と支援交流28年のあゆみ」17名

<71> 10/18 映画視聴『赤い鯨と白い蛇』23名

<72> 11/15 小出一彦「館山湾の夕景と帆船を撮りつづけて」18名

<73> 12/20 齊藤陽子「庭木の剪定とナラ枯れ病」18名

<74> 1/17 樋口正規「もうひとつの房州弁～三芳のことば」18名

<75> 2/21 池田恵美子「房州の海を愛した画家たちと寺崎武男」15名

(2) 書籍等の発行事業

- ・あわがいどシリーズ「戦争遺跡」「房総里見氏」等
- ・テキスト冊子、オンラインパンフレット（日英韓）「館山まると博物館」等
- ・調査報告「ヘリテージまちづくりのあゆみ」「戦後70年証言調査報告書」「寺崎武男生誕140年」等
- ・「タカラガイ図鑑」「おらがごっつお」、イラストマップ、絵はがき「館山まると博物館」等
- ・年金者組合安房支部文集「なの花」編集（委託）

(3) その他の非営利事業「館山まると博物館」まちづくり活動

- ① 旧安房南高校 木造校舎（県指定文化財）の保存活用
 - ・安房高等女学校木造校舎を愛する会：事務局付託、運営
 - ・一般公開：見学会 <県委託事業：NPO／協力：、愛する会>
10/29・30（土日）事前申込制 来場者計520名、スタッフ延べ72名
 - ・掃除・巡視（月1～2回） <県委託事業：NPO／協力：愛する会>
 - ・草刈り（6～10月・自主事業：愛する会>
 - ・資料整理、調査研究
- ② 寺崎武男生誕140年事業
 - ・調査研究：ハガキ類、手帳・スケッチ帳
 - ・作品資料展、シンポジウム 3/25～4/5 来場者550名
- ③ 渡米アワビ漁師移民の調査研究と日米交流
 - ・調査研究
 - ・日米情報交換
- ④ ウガンダ支援交流（支援先：CUFI ウガンダ意識向上協会）
 - ・ウガンダコーヒー流通（通年／10月：珈琲焙煎ポラリス）27店舗連携
 - ・アフリカ布グッズのリメイク・販売等
 - ・安房西高校JRC部、安房平和のための美術展と協働
 - ・少女の「生理の貧困」に伴う課題解決（布ナプキン制作指導・ジェンダー教育等）
NPO法人Global Bridge Network（GBN）と協働
- ⑤ 第28回安房地域母親大会（実行委員会・構成団体）
10/10「教育の今」講師：前川喜平氏、中谷佳子氏 入場者220名
- ⑥ 市民活動団体との協働
 - ・年金者組合安房支部
 - ・婦人保護長期入所施設「かにた婦人の村」（バザー・草刈・建替募金クラウドファンディング等）
 - ・安房歴史文化研究会
 - ・千葉県歴史教育者協議会 2/23 研究集会オンライン 平和分科会：池田恵美子報告
 - ・戦争遺跡保存全国ネットワーク
- ⑦ 情報発信
 - ・NPOフォーラムだより（会員向け会報）No.99～104
 - ・公式ホームページ、YouTube、Facebook、Twitter
 - ・エコレポ「館山まると博物館」オンライン連載